

# 施策評価シート（平成28年度実績評価）

## ◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	3-5	政策名	芸術文化の振興	政策の 目指す姿	地域の歴史や文化、先人に誇りを持ち、芸術文化に親しんでいます	施策 主管課	文化財課	施策主管 課長名	酒井宗孝
	施策No.	3	施策名	文化財の保護と活用	施策の 目指す姿	文化財を適切に保護・活用します	関係課名	花巻市博物館		
	現状と課題		<p>・現在市内には国・県・市の指定を受けた有形・無形文化財が286件あります。また、1,000か所を超える遺跡が存在しており、開発に際しては発掘調査を行い、適切な保存に努めています。</p> <p>・少子高齢化や人口減少が進行している中、地域の活性化や個性あふれる地域が求められており、その地域の絆を結びつける重要な資産として文化財や伝統的なぶんかへの期待や価値が高まっています。</p>							

## 1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組実績

<p>(1) 文化財の保護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財指定調査を行い、「城内伊藤家住宅」「成島和紙」を新指定した（平成29年2月28日）。</li> <li>指定文化財建造物及び指定天然記念物の維持管理（6件通年）を行うとともに、市指定有形文化財の所在調査を実施した（花巻分64件中60件）。</li> <li>市指定文化財北湯口八坂神社境内の樹木（天然記念物）の伐採、北笹間延妙寺仏像監視装置更新に関する事業費の一部を補助した。</li> <li>遺跡内での開発に係る指導・届出処理112件のうち、破壊が免れない4遺跡を記録保存した（補助対象2件、原因者負担：2件）。</li> <li>開発が進む花巻城跡の保存を図る「（仮称）花巻城跡保存計画」策定のため、専門家で検討する花巻城跡調査保存検討委員会を2回開催した。</li> </ul> <p>他、平成27年度に購入した二の丸南御蔵跡付近の内容確認調査を実施した。</p> <p>(2) 文化財の公開と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>早池峰自然観察会・文化財セミナー・埋蔵文化財講演会、各種出前講座、埋蔵文化財を活用した体験学習を開催した。</li> <li>市内指定文化財の説明版の設置及び修繕を6か所で実施した他、遺跡の標柱12か所を設置した。</li> <li>花巻市博物館において、特別展「発明王 エジソン展」及びテーマ展（3回）、共同企画展（1回）を開催した。</li> <li>地域の歴史を学ぶために、博物館資料を活用した講座（32回）や体験学習（20回）、小中学校と連携した事業を開催した。</li> </ul>
---

## 2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
この1年間に博物館等市内の文化財関連施設を訪れたり、文化財に関する講座・セミナー等に参加した市民の割合（F-6）	文化財に対する興味・関心や理解を深めるため、市内にある文化財関連施設を訪れたり、文化財に関する講座等に参加しているか、その状況を示す指数	出典：まちづくり市民アンケート 問：あなたは、この一年間に市内文化財施設（花巻市博物館、石鳥谷歴史民俗資料館、石鳥谷農業伝承館、大迫郷土文化保存伝習館、総合文化財センター）を訪れたり、文化財に関する体験学習、セミナー、講話等に参加したことがありますか？	%	目標値				26.0	29.0	32.0
				実績値		26.9	24.0	22.3	20.5	21.1
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

## 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	<p>■ 成果指標「この1年間に市内の文化財関連施設を訪れたり、文化財に関するイベントに参加した市民の割合」…【達成度c】</p> <p>文化財関連施設のうち主要施設4館（市博物館、石鳥谷歴史民俗資料館、総合文化財センター、石鳥谷農業伝承館）の総入場者数は、27,291人で前年度比113%となっている。これは、総合文化財センターにおいて全国神楽大会に伴い企画した「花巻の民俗芸能と全国神楽大会展」への入館者数（前年度のほぼ倍）によるところが大きい。市博物館でも目標値の96%（前年度比104%）を達成している。また、市博物館と文化財センターが実施した、講座・セミナー参加者は3,135人で前年度の1.5倍、体験学習も1,142人で1.16倍に伸びている。しかし、アンケートでは、前年度を僅かに上回ってはいるものの、入場者数、参加者数の増加を反映していない。</p> <p>アンケートの文章中に「講座」「体験学習」等具体的な文言を加える必要性も考えられる。</p>

#### 4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1-1	文化財保護活用事業	文化財課	A	C
	市内の神社仏閣の構造調査、中世城館、算額、樹木の調査を実施し、調査報告書を刊行した(4件)。文化財指定調査を行い、「成島和紙」(無形文化財)、「花巻城内伊藤家住宅」(建造物:市で購入)を新指定した。			
1-2	文化財保護活用事業	文化財課	A	C
	市内指定文化財の説明板・標柱の設置及び修繕を6か所で実施した。			
1-3	文化財保護活用事業	文化財課	A	C
	指定文化財建造物及び指定文化財天然記念物の維持管理(6件通年)を行うとともに、市指定有形文化財の所在確認調査(花巻分60件)を行った。			
1-4	文化財保護活用事業	文化財課	A	C
	市指定文化財北湯口八坂神社境内の樹木(天然記念物)の折れ枝伐採、北笹間延妙寺仏像監視装置更新に関する事業費の一部を補助した。			
2-1	埋蔵文化財保護活用事業	文化財課	A	A
	開発に係る指導・届出処理112件のうち、破壊が免れない4遺跡を記録保存した(補助対象2件、原因者負担:2件)。			
2-2	埋蔵文化財保護活用事業	文化財課	B	A
	岩手県から委託を受け発掘調査を実施し、整理作業を行っていた小瀬川 I 遺跡の調査報告書を刊行した。			
2-3	埋蔵文化財保護活用事業	文化財課	A	A
	市内に所在する史跡の環境整備を地元保存会に委託し実施した(3か所)。			
2-4	埋蔵文化財保護活用事業	文化財課	A	A
	総合文化財センターに所蔵する埋蔵文化財資料の整理を行い、小学生を主な対象として体験学習を随時実施した(参加者合計608人)			
3	展示活動事業	博物館	A	B
	特別展「発明王 エジソン展」、テーマ展「多田等観展」「ふれてみる歴史と暮らし」「花巻人形展」、共同企画展「南部杜氏」を開催した(企画展等入館者数13,446人)			
4	教育普及事業	博物館	A	A
	展覧会の理解を高める講座や出前講座・授業、体験学習を実施した(講座受講者数1,328人、学習受講者数434人)。			

#### 5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)なし

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

- ・花巻城跡の調査
- ・市指定有形文化財「熊谷家」の屋根葺き替え

(新たに取り組むべき事業はないか)

- ・国指定天然記念物「花輪堤花ショウブ群落」の保全計画の策定
- ・市指定文化財「花巻城内伊藤家住宅」の保全
- ・花巻防空監視哨への対応

#### 6 施策の総合的な評価

(課題)

- ・市民(子供を含む)に対する講座やセミナー、体験学習等を通じて文化財に触れる機会を提供したが、利用者の固定化が進んでいる。
- ・上記事業の開催にあつては、市民のニーズの把握や周知方法を検討する必要がある。

(今後の方向性)

- ・花巻城の調査研究の一環として、二の丸及び本丸の内容確認調査を行うとともに、取得した三の丸伊藤家住宅を保全し、市民に地域の歴史についての興味と関心を喚起する。
- ・市指定有形文化財「熊谷家」の屋根の葺き替えを行い、古民家活用事業の充実を図るとともに、より多様な活用事業を検討する。
- ・考古、歴史資料を持参した出前講座や授業の開催など、学習機会の手段についてさらに検討する。
- ・市民を対象とした事業(展示会・講座・体験学習)について、ニーズの掘り起こし方法や、参加しやすい環境づくりについて検討する。
- ・数年に一度は、市民のニーズに合ったテーマで、規模の大きな展覧会を開催する。